

釣り中の事故が多発しています！

自分自身が釣り中に事故にあったら、どうしますか？

岸壁や防波堤からの釣りを実施中、海中転落する事故が発生しています。気象や海象に注意するなど万々に備えて

ライフジャケットの着用をはじめとした**自己救命策**を確保しましょう！

【主な事故事例】

1. 夜間、防波堤にて釣り中に消波ブロックの間に転落してしまい、**死亡(救命胴衣未着用)**
2. 胴長を着用して海に入り、歩きながら釣りをしていたところ足を滑らせ転倒し、胴長に水が入り起き上がることが出来ず溺れてしまい、**死亡(救命胴衣未着用)**
3. 岬先端で二人で釣りをしていたところ、一人が海中転落。無事救助されたが、誤嚥性肺炎、低体温症を患った(**救命胴衣着用**)
4. 岩場に渡りイカ釣りをしていたが、波の状況を気にしながら、まだ大丈夫だろうと釣りを続けた結果、気づいたときには波が高くなって戻れなくなり、救助要請(**救命胴衣未着用**)

1 ライフジャケットの常時着用

ライフジャケットがそばにあったとしても…海に落ちてからでは着られません！

- ・胴長を着用し、水深の深い場所へ行くと、胴長の中の空気の浮力により、足などが持ち上げられたり、中に水が浸入して身動きが取れなくなり溺れるおそれがあります
- ・磯釣りや海上でのレジャーを楽しむ際は、ライフジャケットを常時着用しましょう！

2 連絡手段の確保

あなたの周りに誰もいなかったら？通報のタイミングが命にかかわります！

- ・防水パックに入れた携帯電話を携行しましょう！
- ・家族や知人にどこへ行くか誰といつ帰るか話しておきましょう
- ・また海で事故にあったり、事故を知ったときは118番に連絡しましょう！

3 気象・海象の把握

海の天候は変わりやすく、海が荒れた状態で無理をするのは危険です！

- ・今日の潮汐は、大潮か小潮か確認をしましたか？気がついたら、潮が満ちて帰れない状況になるおそれがあります
- ・気象、海象を把握し、波が高くなる前に帰りましょう！

ライフジャケットを着用すると生存率が2倍以上に！



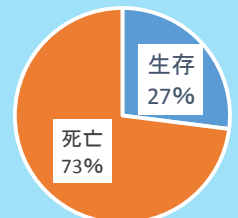
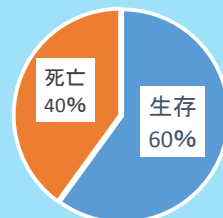
楽しく釣りをするためのマナー

- ①ゴミを持ち帰りましょう
- ②夜間の釣りには、照明器具を持参し足場が悪い場所へ近付かない
- ③立入禁止場所では釣りをしない
- ④小さい子供から目を離さないようにしましょう

ライフジャケット

着用時

非着用時



海の安全情報

緊急情報配信サービス配信中！

アクセスはこちら



海のもしものは118番！

千葉海上保安部

〒260-0024

千葉県千葉市中央区中央港 1-12-2

電話 043-242-1805 (7238)